

20210226

協会会員【株式会社石のセガワ】様 社員勉強会

2月25日に施工会員でもあります、(株)石のセガワ様で社員勉強会が開催されました。

岩手県内においても、納骨堂や墓じまいの需要が増えてきている。従来であれば東北地区ではあまり考えられなかったが、核家族化や継承がない等関東地区と同じような方向に進んできている。そんな中で小売りから卸まで幅広く活動されている(株)石のセガワ様では冬場の時期を使用して、勉強会を開催していますが今回は協会で勉強会をお願いしたいと要請がありました。

各営業所を含めた社員全員が参加し「厳しい時代だからこそ、石材店や職人がやるべきことは！」をテーマに行われました。

勉強会の内容は、協会の施工基準を基に基礎から墓石の建立までの注意点を挙げながらの説明。(東北地区の基準も説明)

接着剤(ボンドやコーキング)の種類の説明から、正しい接着剤の使用量や接着強度の出し方などの計算式についても分かり易く説明。

計算式に基づいた正しい施工方法についても説明しました。

また、社会問題にもなっている産業廃棄物についても書類の種類や、違反時の罰金・罰則も踏まえて説明。(株)石のセガワ様では免許や資格を取得して、廃材の処理も事業として行っていますので、産廃については詳しく勉強しているようでした。



ひと通りの勉強会が終わった時点で社員からの質問を受けながら、(株)石のセガワ様独自の基準書を作成する為のグループミーティングを開催。



午後からは、(株)石のセガワ様の新規事業である石材廃棄物を二次製品に加工できる、小松製作所のガラパゴスの見学に行きました。各県によって色々規制があるようですが(株)石のセガワ様では県の条例等をクリアして現在稼働しています。二次製品は特定の業者に販売していて、利益も出しているようです。とても有意義な勉強会でした。

